

平成 26 年 度 学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト (県 立 松 山 高 等 学 校)

目指す学校像 建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<p>1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。 特にSSH研究開発実施計画の円滑な実施を通して、学校の更なる発展・活性化を目指す。</p> <p>2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましい、常に挑戦者たる生徒を育てる。</p> <p>3 保護者、地域、同窓会との「絆」を深め、地域から一層信頼される学校づくりを進める。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成 目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (2月1日 現在)			実 施 日 平成26年2月3日
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	ほとんどの生徒が国公立大学、難関私立大学への進学を希望している。「松高塾」を始めとする学力向上の取組の充実により、昨年度は、昨年度を上回る進学実績を残すことができた。 今後、更に生徒の進路実現を図るためには、「チーム松高」として組織的指導体制を確立していく必要がある。	<p>(1) 国公立現役合格36人、難関私立大学(早慶上理GMARCH)現役合格100人の実現</p> <p>(2) SSH研究開発の実施と学力向上の取組</p> <p>(3) 授業改善による学力向上への取組</p> <p>(4) 保護者の進路意識啓発</p>	<p>① 国公立大学・難関私立大学合格に向けた進学指導の充実</p> <p>② 「キャリア教育全体計画」の推進</p> <p>③ 進学補習「松高塾」の量的増加と質的向上</p> <p>① SSH計画書に基づく方策の実施 理数科学力向上の取組の推進</p> <p>② 「SS科学探究」及び「SS科学英語」のコラボによる英語発表会の実施</p> <p>① 「学校進学力パートナーシップ推進事業」を活用した生徒による授業評価の実施</p> <p>① 保護者進路説明会や大学見学会等の実施</p>	<p>○国公立大学現役合格36人(10%)、難関私立大学(早慶上理GMARCH)現役合格100人(28%)を達成できたか。</p> <p>○計画通り実施できたか。</p> <p>○生徒の進路意識が向上したか。</p> <p>○実施回数が増加したか。</p> <p>○実施内容の質が向上したか。</p> <p>○学校自己評価及び外部(運営指導委員会)評価が向上したか。</p> <p>○出前授業(8回以上)、研究機関等体験活動(2回以上)を実施したか。</p> <p>○参加者が200人以上来場したか。</p> <p>○英語を使って相手に伝わる発表会が実施できたか。</p> <p>○生徒による2回目の授業評価は1回目と比較して向上したか。</p> <p>○生徒による授業評価が授業改善に反映されたか。</p> <p>○進路説明会に60%以上の保護者が来場したか。</p> <p>○大学見学会への参加者数が増えたか。</p> <p>○保護者の進路意識が向上したか。</p>				
2	多くの生徒が基本的な生活習慣を確立しており、3年間皆勤も多い。 高い社会規範を確立し、社会のリーダーとして活躍できる生徒を育成することが求められている。 安心・安全な学校づくりを継続して行い授業に集中できる環境の確保に努める必要がある。 部活動指導では、県の上位はもとより全国一を目指す部員が多い。	<p>(1) 常に自己の在り方生き方を見つめさせ、礼節を備え、友愛の精神に満ちた強固な人格の育成</p> <p>(2) 学校行事、生徒会活動の一層の充実と活性化</p> <p>(3) 部活動の効率的な実施と昨以上の成果の実現(目指すは日本一)</p>	<p>① 規範意識の確立</p> <p>② 「道徳教育全体計画」等の実施</p> <p>③ 安心、安全な学校生活の保障</p> <p>④ 生徒相談体制の充実</p> <p>① 生徒会行事の円滑な実施</p> <p>① 一層緻密な部活動指導体制の確立</p>	<p>○整容指導の実施(3回以上)と個別指導で規範意識が向上したか。</p> <p>○毎朝の登校指導と毎日の遅刻者数が昨年度と比べて減少したか。(月ごと、学期ごと)</p> <p>○全教員による登校指導(10回)が実施できたか。</p> <p>○在り方生き方教育の工夫改善ができたか。</p> <p>○地元警察との連携協力ができたか。</p> <p>○いじめ・問題行動が発生した場合、100%解消したか。</p> <p>○スクールカウンセラーを効果的に活用できたか。</p> <p>○生徒相談委員会の定期的な実施と職員研修を実施したか。</p> <p>○文化祭入場者数が増加したか。</p> <p>○生徒主体による行事内容が昨年度より充実したか。</p> <p>○全国・関東レベルの大会へ10部以上が出場できたか。</p>				
3	募集案内リーフレットの工夫、教員・管理職による中学校訪問や学校見学会、進学フェア、塾主催行事への参加等、積極的なPRに努めている。 さらに本校の良さを積極的にPRする工夫を重ねていく必要がある。	<p>(1) 生徒募集のより効果的な実施</p> <p>(2) 義務教育諸学校等とのさらなる連携の強化</p>	<p>① 効果的な情報発信の充実</p> <p>② 中学校等の教育機関との連携</p> <p>③ 地元小・中学校との緊密な連携</p>	<p>○ホームページの更新を随時行ったか。</p> <p>○地域や中学校へのPRを積極的に行ったか。</p> <p>○市町村や塾等が主催する進学説明会へ30回以上出席したか。</p> <p>○職員研修の実施により一丸となった生徒募集体制の共通理解ができたか。</p> <p>○入試倍率が向上したか。</p>				